神海魚通信

専攻科

K−1グランプリ in 神海丸

第3回

20回目の操業を終え、海区移動に3日かかります。2日目の昼食後の休息時間を使って、専攻科生21名による第3回K−1グランプリの投票を行いました。1回目（平成21年）、2回目（平成25年）までは、「ベストドレッサー賞」でしたが、今回は、名称を「K−1グランプリ」と新たにしました。神海丸船員の中で操業作業の服装（カッパ姿）の最もよく似合う方を審査いたしました。結果は、下表の通りです。見事！栄光のグランプリに輝いた冷凍長は、2連覇を達成しました。

「スマートであれ！まずは形から・・・」元高梨校長がよく口にされた言葉を思い出しました。

第2・3回 第1位
K−1グランプリ
ｉｎ　神海丸

No.5

第3回 第2位

第1回 第1位

第3回 第2位

2位は3名

第3回 第2位

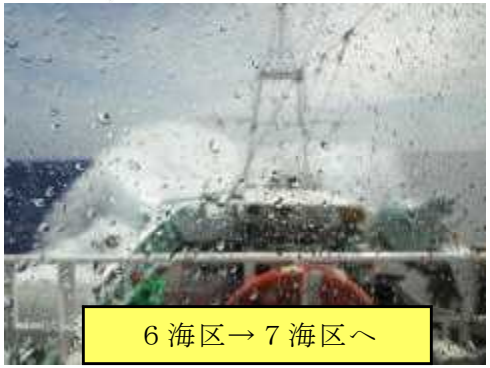
海区移動

～第6海区→第7海区～

2月11日、第6海区で20回目の操業を終え（C型航海船「神海丸」は海区調整法によって、第6海区では、それ以上の操業は出来ないので、第7海区へ移動します。）第7海区（ハワイの南）の漁場を目指して航海しました。

操業も残り僅かとなってきましたので、最後まで気持ちを引き締めて、怪我・事故無いように頑張ります。

＊祈安全　大漁！



6海区→7海区へ

未来へ残そう豊かな海！

ゴミの分類

ゴミの海上投棄は、**「海洋汚染等及び海洋災害防止に関する法律」**で禁じられています。違反しますと数千万円の罰金が科せられます。船でも可燃物（紙等）、ペットボトル、空き缶、空き瓶に分類して収集します。そして、可燃物は焼却炉で焼却、ペットボトルは裁断、機で細かく裁断、空き缶は缶潰機で潰して、空き瓶は集めてそれぞれ陸揚げ処理します。実習を通して、何時までも豊かな資源の海を大切にすることを学ぶことも大切なことです。

焼却炉

缶潰し機

裁断機

活力の源（パン食）

船内での食事は、最も楽しみの一つです。10日に1回位パンが出ます。昼食にはパンと麺類等の主食と併せておかずが割合多く、夕食にはご飯とご体の大好評です。実習生の食事です。